

2024

# 北鹿の学び舎から

修了生、在校生、学校の今 1

校長  
中村

雅英

秋田職業能力開発短期大学校



# 秋田職業能力開発短期大学校の

これまでとこれから

私たちを取り巻く社会情勢

は大きく変化していますか？近年の流れとして「重点投資分野」に「人への投資」が挙げられていることはよく知られた事実です。令和3年11月には、指摘されています。

た大きな変革の中では「人」の重要性が増しており、人への投資を通じた付加価値の向上が極めて重要であることもあります。

3年間で4000億円を、令和4年10月には5年間で1兆円を投じると表明され、リカレント教育や職業訓練等のさらなる拡充の方針が示されています。また、DX（デジタルトランスフォーメーション）やGX（グリーントラン

近年、秋田県では様々な動きが活発になりつつあります。例えば、強い風と遠浅の海底を利用した洋上風力発電の促進、それに関連するサプライチェーンの確立、再生可能エネルギーで生じる余剰電力を利用した水素またはアシン

モニアの製造 地熱エネルギーの多面的な活用ならびに地熱発電の継続的な導入拡大、

「人」であり、優秀な技術者及び技能者の育成は喫緊の課題となっています。

資する技術・技能が習得できるコースの開発・充実が必要であり、企業の人材ニーズを踏まえた訓練カリキュラムの開発も重要な課題である。

鉱山技術を転換し発展させた  
都市鉱山（アーバンマイン）  
の促進など将来が期待される  
ものがいろいろと現れるよう  
になってきました。そして、  
これらの進化のために不可欠  
なものは言うまでもなく  
「人」であり、優秀な技術者  
及び技能者の育成は喫緊の課題  
となっています。

れます。ただし、秋田職能短大も現在の今まで十分とは言えません。例えば、DXやGXの推進に対応する人材の確保・育成が求められていることから、デジタル技術に対応した訓練コースや脱炭素化に資する技術・技能が習得できるコースの開発・充実が必要であり、企業の人材ニーズを踏まえて川東カリキュラムの

転換し発展させた  
ノーバンマイン）  
将来が期待される  
いろいろ現れるよう  
ました。そして、  
化のために不可欠  
白うまでもなく  
り、優秀な技術者  
の育成は喫緊の課  
います。

短大は厚生労働省  
所管の短期大学  
校であり、誕生  
以来、約30年の  
年月が経過しま  
した。その間、  
実践技能者の育  
成や在職者訓練  
等を通じた「ひ  
どづくり」を使  
命として運営し  
てきましたが、  
先に書いたこと  
から容易に理解  
できるように、  
その重要性は今  
後ますます高く  
なるものと思わ  
れます。ただし、秋田職能短  
大も現在の今まで十分とは言  
えません。例えば、DXやG  
Xの推進に対応する人材の確  
保・育成が求められているこ  
とから、デジタル技術に対応  
した訓練コースや脱炭素化に  
資する技術・技能が習得でき  
るコースの開発・充実が必要  
であり、企業の人材ニーズを  
踏まえた訓練カリキュラムの  
開発や見直しにも取り組む必  
要があります。本年度は、ま  
だまだ発展段階にある本校の  
新たな歴史を切り開くような  
在校生または修了生のコラム  
を中心として掲載させていた  
だくことになりました。本校  
は今後とも、秋田県、大館市、  
大館商工会議所、大館北秋商  
工会、産業界、そして地域の  
皆様と密接な連携を保ちながら  
発展してゆきたいと考えて  
おります。在校生や修了生の  
近況を知つていただき、これ  
からも皆様からの温かい御支  
援を賜れば幸いと考えており